2013 | 1月1日発刊 | Vol.10

SAIJO CITIZEN'S HOSPITAL

西条市民病院 広報誌 テルヴェ!

Terve!

Terve（テルヴェ）とはフィンランド語で「健康・こんにちは」という意味です。

モーターパラグライダーからの写真【撮影：西条市在住　越智 友義様】

新年のご挨拶

病院長

間口　元文

- 糖尿病講習会の報告
- リハビリテーションの新しい方向と当院の回復期リハビリテーション病棟（2病棟）
- 【出張報告】2病棟「リハビリテーション・ケア合同研究大会 札幌2012」
- 【出張報告】「肩関節の機能解剖と理学療法」講習会
- 【出張報告】HOSPEX Japan
- 感染防止対策委員会からのお知らせ
- ジェネリック（後発）医薬品って何だろう?
- 移乗（生活の中での乗り移り動作）勉強会報告
- 海外実習を終えて
- 3病棟イベント［クリスマス会］
- マー君のレッツ・エクササイズ!［簡単に続けられるシェイプアップ法］
- 各部署紹介［医療福祉相談室］
- 旬のレシピ［やわらかロール白菜］
- イクメン生活
- 北辰会グループ HJJSカップ レクバレー・ソフトボール大会開催
- 職員コラム
- 介護老人保健施設まなべ便り
- 表紙・裏表紙の写真［モーターパラグライダー］

新年のご挨拶

病院長　**間口　元文**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたことと存じます。まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝し、当院をご利用いただいているすべての皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。

昨年は、ロンドンオリンピックのメダルラッシュ、山中伸弥教授のノーベル医学・生理学賞受賞などの明るい話題もありましたが、円高不況、財政危機、消費税の増税法案の成立、年金不安などまだまだ出口の見えないトンネルを走っている状態です（まさに2012年の漢字は『金（キン、カネ）』でした。）。 一方、東日本大震災の復興や福島原発事故の処理もまだまだ進んでいないようです。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

このような時代だからこそ、私たちは医療を通じて、『安心』を皆様に提供する病院であり続けることが使命だと思っています。

本年が皆様にとりまして明るく希望に満ちた年となりますように祈念するとともに、私たちは『利用者の幸福』という理念を追求していきたいと思います。地域の皆様に親しまれ、信頼され、皆様の健康を支える病院として、日々努力を重ねていきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

糖尿病講習会の報告

糖尿病委員会　兵頭　正員

平成24年11月10日、当院にて糖尿病の講習会を行いました。たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。簡単ですが、講習会の報告をさせていただきます。

簡単な健康診断

参加して頂いたほとんどの方の、血圧、身長、体重、血糖値を測定させていただきました。他にも、先着何人という形で、HbA1c（糖尿病の指標の一つ）や血管年齢も測定させていただきました。血管年齢は普段測定する機会があまりないと思いますので、気になる方は来年ぜひお越し下さい。

講　演　会

当院の糖尿病専門外来・髙田康徳医師（愛媛大学大学院医学系研究科分子遺伝制御内科学・糖尿病内科）による「メタボ・糖尿病と逆さ仏」という演題の講演会を行いました。糖尿病が怖いのは、血糖値が高い事ではなく、慢性期に生じる合併症です。合併症が進行すれば、網膜症（失明）、腎症（透析が必要になる）、神経障害（足が腐って切断）、動脈硬化（心筋梗塞・脳梗塞）といった事が起こります。そうならないためにも、体に良い事を普段から少しずつでも実行していく事が大切になるそうです。例えば、ファーストフードやスーパーのお惣菜等は、脂肪分や塩分が多く、カロリーも高いので、なるべく避けて、１日のうちの１食だけでも、バランスの良い食事（昔からの日本食のようなもの）を心掛けるだけで、体には良いそうです。

エクササイズ

参加者全員でエクササイズを行いました。タオルを使ったストレッチや、音楽に合わせて簡単な運動をしました。普段体を動かさない人にとっては少し疲れたかもしれませんが、途中で雑談や冗談が入り、とても楽しい雰囲気でできました。今回のエクササイズ講習が、運動を始めるきっかけになれば良いなと考えています。

リハビリテーションの新しい方向と当院の回復期リハビリテーション病棟（２病棟）

回復期リハビリテーション病棟
専任医師　**首藤　貴**

我が国の医療資源を有効に活用し、患者さんの機能を早く回復させるために回復期リハビリテーション病棟の制度が平成12年に創設されました。

この病棟は現在全国で約６万床に達し、愛媛県では東予地区200床・中予地区476床・南予地区238床・合計914床となっております。

西条市民病院では平成23年７月に26床の回復期リハビリテーション病棟を立ち上げ、脳卒中・大腿骨近位部骨折・脊椎骨折・人工関節（股・膝関節）術後・廃用症候群などの患者さんの回復に取り組んでいます。（図１）

この病棟の必要性は高く、入院希望の患者さんが多く、ほぼ満床の状態が続いております。（図２）

病棟スタッフ一同は患者さんの回復のため、また自宅生活に復帰して頂くために一生懸命頑張っております。多くの重症者の治療に当たりながら、約70％以上の方に在宅生活に復帰して頂いております。（図３）

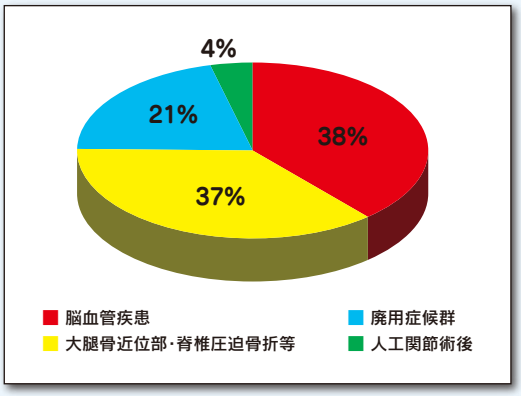


図１　入院患者さんの割合（H23.12～H24.11）

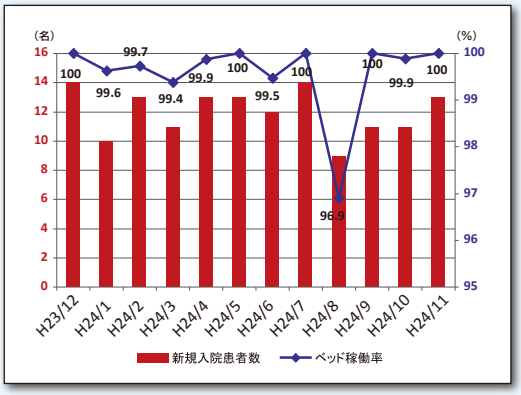


図２　新規入院患者数とベッド稼働率

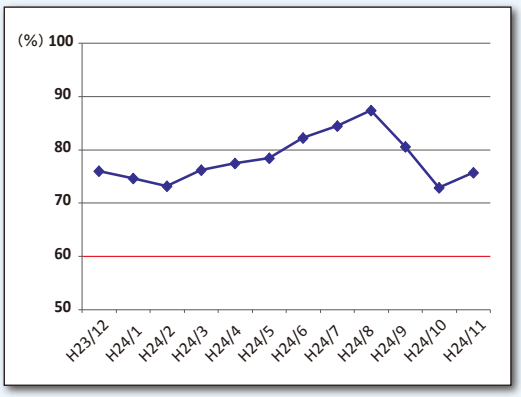


図３　在宅復帰率（当院に対する国の目標：60%）

出張報告

2病棟「リハビリテーション･ケア 合同研究大会 札幌2012」

10月11～13日北海道札幌市で「リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012」（参加者 2,200名）が開催されました。当院からも回復期リハビリテーション病棟のスタッフが参加しました。当院での取り組みを発表し、他院の取り組みについて勉強してきました。北海道での思い出も含めて、ご紹介したいと思います。

【入浴評価表について】

今回北海道札幌市での研究大会に参加し、2病棟で取り組んでいる「入浴評価表」について発表しました。普段、入浴動作に関わることはあるのですが、患者さんの入浴動作をどのようにスタッフが把握しているかを調べました。職種での、動作方法・環境設定が異なり統一出来ていないのが改めて分かりました。動作方法を様々な方法で行うことにより、動作獲得が得られにくいのではないかと考え、新たな入浴評価表を作成し、病棟で活用しました。環境設定などは写真を用いることで、簡単に把握することはできましたが、動作の統一は入浴評価表のみでは困難でした。その為、適宜スタッフ間での情報交換を行う必要があると実感しました。

作業療法士
野崎　京

今後は他の病院で取り組んでいる作業活動（調理練習、身だしなみ）など、集団での取り組みも回復期で取り入れたいです。

【ナースコールについて】

今回北海道札幌市での研究大会に参加し、１年間かけて集めた「ナースコール」の研究を発表しました。研究大会では、介護職のレベルアップや他職種との連携をテーマにした発表もあり大変勉強になりました。また、自身が発表することや他者の発表を聴くなかで、介護士としての自分の役割を再度振り返る貴重な機会を得ることができました。

介護福祉士
藤崎　仁之

第一に、自分が介護士として研究したことを発表でき、とても嬉しく思います。今後は今回の研究で取り組むことが出来なかった課題や、他職種との連携など、研究大会で学んできたことを活かしたいです。

出張報告

「肩関節の機能解剖と理学療法」講習会

理学療法士　髙橋　友明

平成24年11月１日から３日までの３日間、兵庫県で開かれた理学療法士協会主催の「肩関節の機能解剖と理学療法」という講習会に参加してきました。

全国から40人の理学療法士が集まっての講習会です。内容は、肩関節の解剖生理やバイオメカニクス、肩関節周囲炎、肩関節の手術後、脳卒中患者の肩関節、スポーツ障害による肩関節障害など肩関節について色々な方面から知識の習得、また治療の方針などについて学ぶものでした。

今回の講習では、手を挙上する際の上腕骨の動き方は昔教科書に載っていたものが誤りであったり、骨の形状を考慮した肩と腕の動かし方、痛みを生じさせている原因の場所を探し出すメソッドなどたくさんの知見を得ました。また、講師の先生方の日常の治療の進め方を聞くことで、自分の治療方針についても整理することができたと思います。そして、参加者である経験年数の近い理学療法士と日頃の業務について話し合ったり、行っている治療法を検討したこともよい経験となりました。

今回の講習会での経験を元に、自分が行っているリハビリテーションをレベルアップさせ、今後の臨床に活かしていこうと思います。

出張報告

HOSPEX Japan

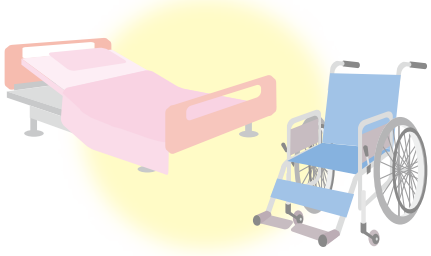
事務管理部　岡田　吉徳

平成24年11月15日・16日と東京ビッグサイトで開催された医療介護機器が一堂に集う専門展示会のホスペックスジャパンに参加し、出展製品と平成22年（新病院）に導入した製品を比較しながら見てまわりました。特に今回はリハビリ機器の出展製品が興味を引き、ミナト医科とOG技研のブースに行ったところで市民病院担当のメーカーさんと会い、体験コーナーを勧められました。まずは低周波治療器の低周波パッドを両肩、頚部にあて、10分程電気を流し、次は、ウォーターベッドの体験、仰向けになり下から水圧で全身マッサージを受け、気持ちが良く眠気を催す程でした。隣をみても同様に気持ちよさそうな感じで体験をしていました。体調も良くなった所で自院に入っている製品のメーカーを探し、ブースに立ち寄りいろいろ商談、雑談をしていると家が近所など祭りの話になったり、東京でこんな話題になるとは思いもよらず、楽しい展示会になりました。

今回は医療機器だけではなく、環境に配慮した建材展示や災害対策機器や材料を集めたゾーンも興味を引きました。

病院関係者の方にとっては、多数の医療設備機器を比較検討できる非常に有意義な場だと思います。尚これからは、他部署の方の参加もおおいに勧めたいと思います。

展示会から帰って事務所で話をすると、ある病院ではリハビリのトレーニング機器などは午後５時以降は、職員の健康増進のため進んで開放して使用していますとのこと、自院でも有意義に活用できればと思います。



感染防止対策委員会からのお知らせ

3病棟 看護師 松岡 高代

インフルエンザについて

いわゆる「かぜ」に比べ、38.0℃を超える突然の発熱・全身のだるさ・ふしぶしの痛みが強くでるのが特徴です。

「インフルエンザ」と診断されたら、感染の拡大を防ぐため会社・学校を休みましょう。安静にして睡眠、水分と栄養を十分にとってください。

症状がよくなっても2日目までは、感染力が残っているので、通勤・通学は控えたほうがよいでしょう。また、家族と別の部屋で過ごし同じタオルの使用は控えましょう。

特に小児は、インフルエンザウイルスの感染が引き金となりインフルエンザ脳症をおこすことがあります。高熱時には早めに医療機関を受診してください。

予防接種を受けていてもかかることがあります。予防には、人ごみはできるだけ避けるようにしましょう。また、マスクを使用し、うがい・手洗い・換気をこまめに行い、加湿器を使用することもおすすめします。

ノロウイルスについて

ノロウイルスの感染は感染性胃腸炎といわれ、嘔吐・下痢を主症状とします。今年は、昨年と比較して発症者が2倍以上に増加しています。

12月～3月に多く発病し幅広い年令にかかります。わずかなウイルスが口に入るだけで、強い感染力があります。

多くは、嘔吐・下痢の症状は数日で良くなります。しかし免疫力が低下した高齢者・乳幼児では重症化することもあります。

インフルエンザと違い予防接種がありません。予防には、手洗い・うがいをこまめに行い、規則正しい生活とバランスのよい食事をきちんととりましょう。また、発熱・嘔吐・下痢などの症状があれば早めに医療機関の受診をおすすめします。

健康でよい年をお過ごしください。

ジェネリック(後発)医薬品って何だろう？

薬剤師 兵頭 正員

最近CMなどでジェネリック医薬品という言葉をよく聞きますが、そのジェネリック医薬品がどういう医薬品なのか、紹介したいと思います。

ジェネリック医薬品とは、「先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分を同じ量だけ含む薬」といえます。ちなみに、先発医薬品とは、現在市場に約８割出回っている薬で、製薬メーカーが新たに開発した薬のことです。ジェネリック医薬品には特徴が２つあります。

特徴❶ 先発医薬品より安価なので、患者さんの負担の軽減や医療費の削減になります。新薬を開発するのは非常に大変なことです。1つの新薬が誕生するまでに、10年以上の期間と、200 ～ 300億円以上にもなる費用がかかると言われています。そのため、製薬メーカーは特許をとり、薬にそれ相当の値段を決めます。ジェネリック医薬品は、その特許が切れた後に販売されますので、開発費が抑えられて、先発医薬品よりも安価になります。

特徴❷ 効果や品質は先発医薬品とほぼ同じです。ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分が同じ量だけ入っていますので、基本的に効果は同じです。品質についても、国が定めるいくつかの検査に合格しなければなりませんので、問題はないと考えられます。しかし、薬に含まれる添加物の種類や量が先発医薬品とは異なりますので、若干の違いが生じる可能性があります。

移乗（生活の中での乗り移り動作）勉強会報告

作業療法士　**尾上　健一**

当院では、11月に移乗勉強会を開催しました。この勉強会では、患者さんが車椅子・ベッド間の乗り移りの際に足を引っ掛けて怪我をするといったことがないように、また個々のスタッフの介助技術が向上できるようにということを目的としました。対象者は、病棟の看護・介護スタッフ、コメディカルのスタッフで、講師はリハビリスタッフです。勉強会では、講義のみでなく小グループでの実技を取り入れることにより、普段自分達が行っている介助方法を改めて考え直したり、他の人の介助方法を客観的に見ることにより、スタッフ同士が意見交換できる場を設けました。単に受動的に勉強会に参加するのではなく、自分の考えを伝えたり、よりよい介助方法を検討したりすることにより、熱心に取り組まれているように感じました。

何気なく行っている介助方法が、患者さんや自分にとって負担になっていることもあるので、今回の勉強会を通し、普段から一つ一つの関わりの中で意識していければと思います。また、このような一つのきっかけから、患者さん一人一人に合った介助方法をスタッフ同士で模索できるようになればと思います。

海外実習を終えて

フィンランド　ラハティ応用科学大学　国際ビジネス学科
エンミ･イコネン

私は、日本での勉強、実習や暮らしをずっと夢見ていました。今まで日本に長期滞在できるチャンスがないか、高校生の頃から探していましたが、残念ながら見つかりませんでした。でも、そのお陰で今回、北辰会グループで実習できるチャンスに出会うことができ、待ったかいがあったと感謝しています。

実習期間中には、フィンランドでは絶対に学べない大切な経験ができました。これまで日本の保健医療や高齢者介護についてほとんど知りませんでしたが、今回得たたくさんの知識は、将来的にとても重要であると感じています。フィンランドの保健医療についての講義を母（フィンランド　ラウレア応用科学大学講師）と一緒に行ったことは、私にとって忘れられない体験となりました。私は、フィンランドの保健医療や高齢者介護について紹介できたことを誇りに思っています。この講義や実習中に行ったことが、北辰会にとって何かの役に立てば良いなと思います。

来年の春には大学を卒業する予定ですが、実習中に素晴らしい卒業論文のテーマを見つけました。この実習で得た知識と経験を基に、良い論文が書けると信じています。

私は、西条の街が大好きです。人は皆フレンドリーで、優しくて、私に興味を持ってくれました。また、皆が私に日本語を話すよう勇気づけてくれたので、さらに日本語が上達し、嬉しいです。日本は私にとって２番目の家のようです。

フィンランドへ帰国するのは辛いですが、日本、西条、そして北辰会についての新しい情報を母国へ持ち帰れることを誇りに思います。北辰会の職員や友人たちが優しくしてくれたことなど、全てに於いて感謝しています。皆さんがフィンランドへいらした時には、私が受けたような温かいおもてなしでお迎えしたいと思います。

３病棟イベント

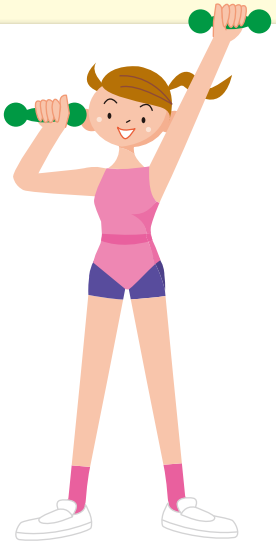
11月27日、恒例の小松西保育所の園児との交流会（クリスマス会）が開催されました。11名の園児が来院し、ハーモニカ演奏、歌や組体操の披露などがありました。最初は少し緊張していた園児達も、患者さんが楽しんでいるのが分かるとすぐにうちとけ、食事会では色々な話をしながら楽しくクリスマスケーキなどを食べました。５歳の園児が105歳の方の年齢を聞いて驚く場面もあり、患者さんにも園児にもまた職員にも刺激のある笑顔溢れる交流会になりました。これからも、みなさんの笑顔が見られるイベントを企画していきます。

マー君のレッツ・エクササイズ！

簡単に続けられるシェイプアップ法

明けましておめでとうございます。年末から三ヶ日暴飲暴食、食べすぎて１キロ２キロ太ったなんて人はいないでしょうか？ 暴飲暴食は体のラインよりも内臓に負担がかかってしまうのでほどほどに。しかし、昨年の３月頃からこのエクササイズを続けてきた方は、正月太りなんてことには無縁になっていると思います。肩甲骨と大腰筋を活かした自然の動作ができていればお腹ポッコリなんてことはないと考えます。

さて、今回はエクササイズをひと休みしまして、皆様からのダイエット、エクササイズに関する疑問と方法を多々聞かれることがありましたので、その質問にいくつか答えていきたいと思います。



Q　筋トレは毎日行うのか？

A　毎日行うと筋肉が十分回復していない時点で刺激を与えることになり、効果が出ず、かえって過労でレベルダウンしたり、ケガの原因にもなりかねます。行った翌日は完全休養しましょう。つまり、一日おきで、週に３日か２日でいいのです。

Q　筋肉が脂肪に変わることもあるのか?

A　運動をやめたりして張りがなくなりプヨプヨになった。そう感じるだけであり、筋肉が脂肪に変わることは絶対にありません。筋肉と脂肪は別物なので、正確には筋肉が減って脂肪が増えた、脂肪が減って筋肉が増えたというのが正しいでしょう。筋トレをすると筋肉が増加し、消費エネルギー量が増え、体脂肪が減少します。

Q　プランのたて方は?

A　**目標設定**

若返りたい、かっこよくなりたい、自信をつけたい　など

筋トレの知識をある程度得る。どのようにすれば安全で効果が得られるか？

筋トレの仕方と述べましたがエクササイズの仕方に置き換えてもOKです。

体型を認識しよう。自分の体型は何体型なのか？

ホッソリ　ブヨブヨ　ポッチャリに分ける計算方法があります。

判定方法　**ウエストサイズ÷身長(㎝で)**

１．数値が0.45未満でBMIが21未満　ホッソリ体型

２．数値が0.45以上でBMIが24未満　ブヨブヨ体型

３．数値が0.45以上でBMIが24以上　ポッチャリ体型

あなたはどの数値になりましたか？ ちなみに理想の数値は0.45未満でBMIが21以上24未満だそうです。

以前に述べたように、食事を抜いたりするダイエットは、危険も伴いリバウンドの恐れがあるのでお勧めできません。痩せるためには筋力をアップさせることと、ペースを考えた有酸素運動です。今年も目標に向かって頑張りましょう！

各部署紹介
医療福祉相談室

医療福祉相談室では、患者さんに安心して療養生活を送っていただくために、傷病によって起こる様々な問題について私たち医療ソーシャルワーカーがご相談に応じております。私たちは医療チームの一員として、院内の医療従事者や必要に応じて地域の関係機関等と連携を取りながら、一日も早く問題が解決できるためのお手伝いをいたします。どんなことでも、お気軽にご相談ください。

また、医療福祉相談室では転院や入院の相談、他院への紹介や予約等の地域医療連携業務も行っています。

患者さん・ご家族が私たち医療ソーシャルワーカーと出会えて良かったと思っていただけるよう、今後も日々努力し続けていきますので、どうぞよろしくお願いします。

旬のレシピ やわらかロール白菜 【調理時間のめやす 30分】

【材料】《4人分》 1人分 217kcal

白菜……	8枚	チキンブイヨン	2個
鶏ミンチ……	280g	水……	3カップ
おから……	100g	塩・こしょう…	少々
白菜の芯			
玉ねぎ……	1/4個	Ⓐ酒……	小さじ2
卵……	1/2個	塩・こしょう	少々
しょうが汁……	小さじ1		
醤油……	小さじ2	Ⓑ醤油……	大さじ1
人参……	1/4本	酒……	大さじ2
ブロッコリー	1/3房		

作り方

① 白菜は一枚ずつ綺麗に剥がす。熱湯で茹でてザルに広げ、水気をきって冷ましておく。白い芯の部分は、削いで厚みを薄くしておく。
② 削いだ白菜と玉ねぎはみじん切りにする。
③ 人参は5mm厚さの輪切りにして花形に抜き、周りの枠はみじん切りにして、ブロッコリーは小房に分けて茹で、冷水に取って色止めをしておく。
④ 鶏ミンチに②と、③でみじんにした人参、Ⓐの調味料を入れてよく混ぜ、8等分して俵型に形を整えておく。
⑤ 白い芯の方を手前にして白菜を広げて置き、タネを手前にして巻いていく。巻き終わりはつまよう枝で止める。
⑥ 鍋に⑤のロール白菜の巻き終わりを下にして隙間がないように並べ、人参も入れておく。Ⓑを加えて落とし蓋をして強火にかけ、煮立てば弱火で15分位煮込む。
⑦ スープの味を調える。
⑧ お皿に食べやすく切ったロール白菜とスープをたっぷり入れ、人参・ブロッコリーを盛り付ける。

イクメン生活

理学療法士　玉井 亮史

平成23年7月10日生まれで、名前は玉井悠翔（ゆうと）です。もうすぐ1歳5カ月になります。

毎日家の中を走りまわったり、テレビから流れる音楽に合わせて踊ったりと、とても元気です。外に出ると一人でどんどん走って行ってしまうので目が離せません。また、最近は少しずつ言葉が出始めています。

日中は、グループ内託児所のほくしんコティに預けています。病院に隣接しているので送り迎えの手間がなく、とても助かります。

これからどんなふうに育っていってくれるのか、成長の日々がとても楽しみです。

北辰会グループ　HJJSカップ

ソフトボール大会開催

介護支援専門員　一色 政人

12月９日、雨のため順延となっていたHJJSカップソフトボール大会が、小松運動公園で行われました。

この日は、皮肉なことに今年一番の寒さ、選手も応援も大会関係者も震える中での大会でしたが、試合は盛り上がりを見せ、ハッスルプレーも飛び出すなど、熱戦を繰り広げました。

結果は惜しくも２位でしたが、怪我もなくソフトボールと通じて、北辰会の絆が深まり、他の施設ともいい交流ができたと思います。

レクバレーに負けないように、２回、３回と回を重ねていきたいと思います。

レクバレー大会開催

介護福祉士　端野由香里

11 月 24 日、西部体育館にて HJJS カップ（レクバレー）が開催されました。北辰会からは３チームが出場しました。惜しくも優勝は出来ませんでしたが、試合が進むにつれてチームワークも良くなり、他施設の方々との交流も深まりました。たくさん「笑い」もあり、楽しむことが出来ました。

しかし！！優勝出来なかったのはとても悔しいので、次回の HJJS カップでは「絶対優勝！！」を目標にして、挑みたいと思います。

職員コラム

臨床検査技師　日野 哲也

釣りにはまってちょうど25年。今回エサでの真鯛釣りは初めて。

実は、真鯛のチャレンジは、過去にタイラバーで数回あるのですが、すべて玉砕されています。

今回こそ頑張るぞと、気合満点で望みました。

案の定、一投目からアタリが。コツコツと竿先にアタリが。次の瞬間ググッと竿先が迎えこまれ、必死でアワセを入れ、リールを巻きました。

キター！！！

どれだけの時間がかかったかわからず、無我夢中でした。

最後はスーと海面に浮いてきて、又びっくり。

81㎝・5㎏（まぐれで釣れました）

老健まなべ便り

「第23回全国介護老人保健施設大会 美ら沖縄」参加報告

理学療法士　玉井　梢

平成24年10月３日～５日に開催された「第23回全国介護老人保健施設大会　美ら沖縄」に参加・演題発表をしてきました。今回の大会テーマは『命（ぬち）どぅ宝～老健が担う地域包括ケア～』でした。講演内容は認知症・被災地での経験・看取り・リハビリ・文化など多岐に渡っていました。老人保健施設がそれだけ多くのニーズを求められているのだと思います。

今回の私の発表は、演題名を「在宅復帰を諦めない」とし、事例報告と当施設の取り組みについて発表しました。事例報告は、寝たきり全介助レベルの方で、当施設のスタッフ及び在宅サービス事業者が協働して、入所後半年で在宅復帰された事例です。座長より、「私の施設では、このレベルの人を在宅復帰させることは考えられない。担当者会議や自宅訪問等で家族との接点を多く持ち、家族の信頼を勝ち得たからこそできた在宅復帰なのだろう」という言葉を頂きました。

今回この学会に参加して、当施設では退所後のフォローが不十分であると実感しました。入所中だけではなく、退所後も安心できる、シームレスな（途切れのない）ケアが提供できるように試行錯誤しながら日々精進したいと思います。

老健まなべでは、入所者さんと一緒にクリスマスツリーの飾り付けをしました。飾りを一つひとつ手渡してくださったり、入所者さん同士で配置を相談しながら飾り付けをされたりするなど、たくさんの笑顔が見られ、楽しんでいただくことができました。

老健まなべでは、このような催し事一つにおいても入所者さんと一緒に協力して行うことで、季節の移り変わりを感じていただき、明るく穏やかに過ごしていただきたいという思いで取り組んでいます。

Terve!
2013 1月1日発刊 Vol.10

発行：広報誌編集委員会／岡田 吉徳　小宮 直子　首藤 守良　髙橋 実奈子　中川 文　端野 由香里　日野 哲也　藤岡 政司　船田 將吾　増田 祐亮　山内 佳織

表紙・裏表紙の写真　モーターパラグライダー

撮影：P.AP.JAPAN　越智 友義様

- 昭和32年生まれ
- 西条市氷見在住
- 元刑事
- 趣味：オートバイ・スキューバダイビング（インストラクター資格所有）・燻製作り（ベーコン・手羽先など）

HOKUSHINKAI
医療法人 北辰会
http://www.hokushinkai.jp
西条市民病院
介護老人保健施設 まなべ
氷見訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所 西条市民病院

西条市民病院

診療科	内科・外科・整形外科・リハビリテーション科	
診療時間	㈪～㈮	8:30～12:30 ／ 15:30～17:00
	㈯	8:30～12:00

〒799-1104　愛媛県西条市小松町妙口甲1521番地
TEL：(0898)72-4111　FAX：(0898)72-6311
http://www.saijo-hospital.jp